

R型防災システム 副表示機(カラーLCDタイプ) 施工説明書

品番：NYI506AE
NYI506AF

日本ドライケミカル株式会社

初版2018年6月4日

4YM-07019-AP

施工説明書 ー目次ー

1. 安全に関するご注意	1
2. 施工上のご注意	2
3. ディップスイッチ設定	3
4. 取付方法(露出型の場合)	5
5. 取付方法(半埋込取付の場合)	6
6. 取付方法(埋込取付の場合)	9
7. 配線方法	10
8. 終端抵抗スイッチの設定について	12
9. 設定ファイルの登録方法について	14
10. 時刻設定・予備電源試験・ヒューズ交換について	15
11. 異常時の点検・処置	18

1. 安全に関するご注意

警 告

分解禁止！



機器を分解したり、修理、改造はしない。
感電・故障の原因となります。

必ず守る！



電源 (AC100V) をOFFし、予備電源を取りはずした状態で施工する。
活線工事は、感電や発熱・故障の原因となります。

施工説明書にしたがい、その質量に十分耐えるように強固に取り付ける。
安易な取り付けは脱落、転倒によるケガの原因となります。

AC100V専用。接続前に入力電圧を確認する。
AC100V以外の電圧では発火・発熱の原因となります。

AC100V用電源端子は確実に締め付ける。
締め付けが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

予備電源は必ず接続する。
予備電源を接続しないと停電時に機能しません。

AC100V用端子の電源端子カバーは工事終了後、必ず取り付ける。
感電の原因となります。

禁止！



水や雨のかかる場所 (屋外など) 湿気の多い場所 (給湯室) には設置しない。
感電・故障の原因となります。

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。

ぬれ手禁止！



ぬれた手で副表示機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。
感電・故障の原因となります。

注 意

アース線接続



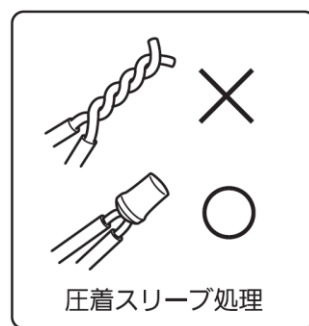
アース線の接続は確実に行う。
使用時や漏電時のときに感電するおそれがあります。

付属品

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ●取扱説明書 (本体同梱版)・・・1枚 | ●ヒューズ抜き差し工具・・・1コ |
| ●施工説明書 (本体同梱版)・・・1枚 | ●ジャンパーピン……………2コ |
| ●予備電源 (受信機用450mAh)・・・1コ | ●取付ネジ (M5×40) ……4本 |
| ●ヒューズ (250V 3A) ……1コ | |

2. 施工上のご注意

- この製品は屋内専用です。屋外・屋側には設置しないでください。
- 工事・施工時のゴミはどは機器の中に残さないでください。
ショートや、故障の原因となります。
- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をして下さい。
電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化接触不良をおこし、誤動作の原因となります。
- AC100V配線を小勢力配線は出来る限り離して施工してください。
AC100V配線が小勢力配線の近くにあると誤動作の原因となります。
- アース端子は必ず接続してください。
(D種(第3種)接地相当以上(100Ω以下)として下さい。
- 予備電源収納スペースがあるため、副表示機の下からの露出配管はできません。
- 扉はコインなどで確実に閉めてください。

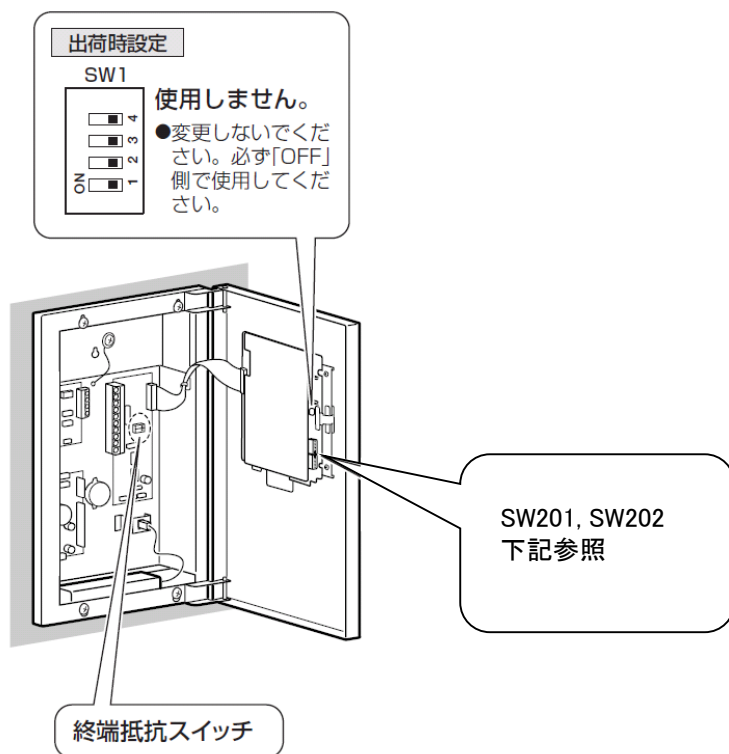


■次のような場所には設置しないでください。

(誤動作や故障の原因となります。)

- 直射日光の当たる場所
- 水滴、蒸気、ホコリなど掛かる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を与える場所
- 常に人がいなくて様子を確かめられない場所
- 薬品などのガスが発生する場所
- 強磁界やノイズの発生する場所

3. ディップスイッチ設定



SW201 使用しません。(スイッチ6～8) ●変更しないでください。必ず「OFF」側で使用してください。 SW202 使用しません。(スイッチ6～8) ●変更しないでください。必ず「OFF」側で使用してください。	5	表示切替設定スイッチ	☐ OFF側：第1報目を固定表示します。 ☐ ON側：最新の情報を表示します。
	4	音響完全停止設定スイッチ	☐ OFF側：音響は鳴動します。 ☐ ON側：音響は鳴動しません。
	3	小型LCD互換設定スイッチ	☐ OFF側：種別ごとの設定データに基づき動作します。 ☐ ON側：種別ごとのデータ設定をしなくても動作します。火災とガス以外はすべて警報として表示し、種別名称(防火戸など)は表示されません。
	2	通信方向設定スイッチ	☐ OFF側：通信方向が片方向のときに設定します。 ☐ ON側：通信方向が双方向のときに設定します。
	1	通信モード設定スイッチ	☐ OFF側：R1000シリーズ、R5000シリーズ、RX500、RX1000接続時に設定します。 ☐ ON側：RX300、RX600、RX1200、RX700、RX1400接続時に設定します。
	1 5	アドレス設定	副表示機の接続台数に応じた設定します。最大31台まで接続可能です。 【例】 1 2 4 8 16 ON 1 2 3 4 5 1+4+8+16=29 29台目

※片方向通信時はSW202は全てOFFに設定してください。

■アドレスの確定方法

●アドレス情報が液晶画面に表示されます。※片方向通信時はアドレス情報を表示しません。

- 1 管理者 押す
- 2 パスワード入力 [A] 押す▶ [D] 押す▶ [確定] 押す
- 3 バージョン情報 押す

液晶画面表示例

●バージョン情報
PADI Ver.1.52

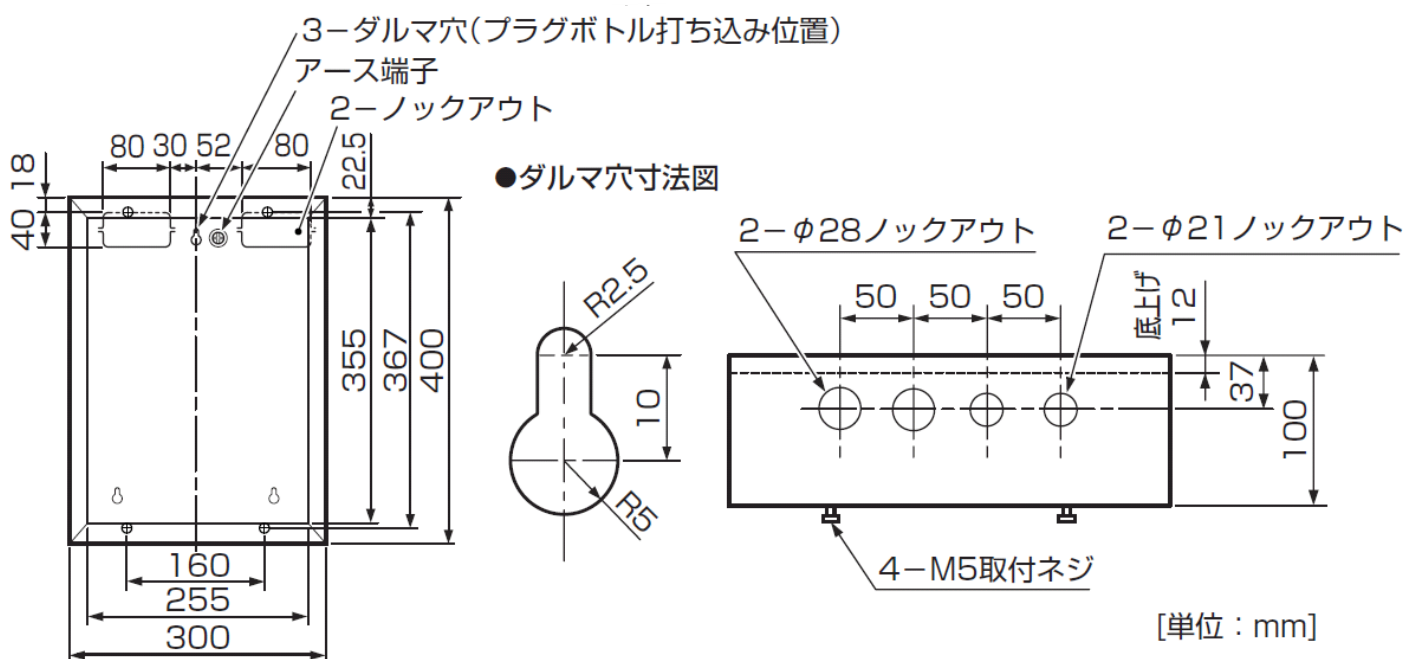
●アドレス情報
アドレス02

4. 取付方法（露出型の場合）

露出型の場合

1. 取付位置を決め、取付用プラグを打ち込む。

- ・プラグボルト（M4）（市販品）の打ち込みと、配線を引き込む位置は、下図の取付寸法図のとおりです。
- ・中央のプラグボルトは、露出ボックス取り付け時の位置決め用としてご利用ください。
- ・露出ボックスの底上げは12mmです。
- ・AC100V配線と小勢力配線を下図の位置より引き出してください。



2. 入線を行う。

- ・AC100V配線と小勢力配線を分離して入線してください。

3. プラグボルト3ヶ所で露出ボックスを壁面に固定する。

- (注) ・上下を間違わないように表示マーク（上↑）が上にくるように取り付けてください。
・床面に対し、垂直になるように取り付けてください。
傾斜角が大きいと副表示機の扉の開き方が悪くなる場合があります。

4. 露出ボックスに本体を取り付け、露出ボックスの取付ネジ（4カ所）を締め付け、露出ボックスのアース端子に本体のアース端子を接続する。

露出型の場合

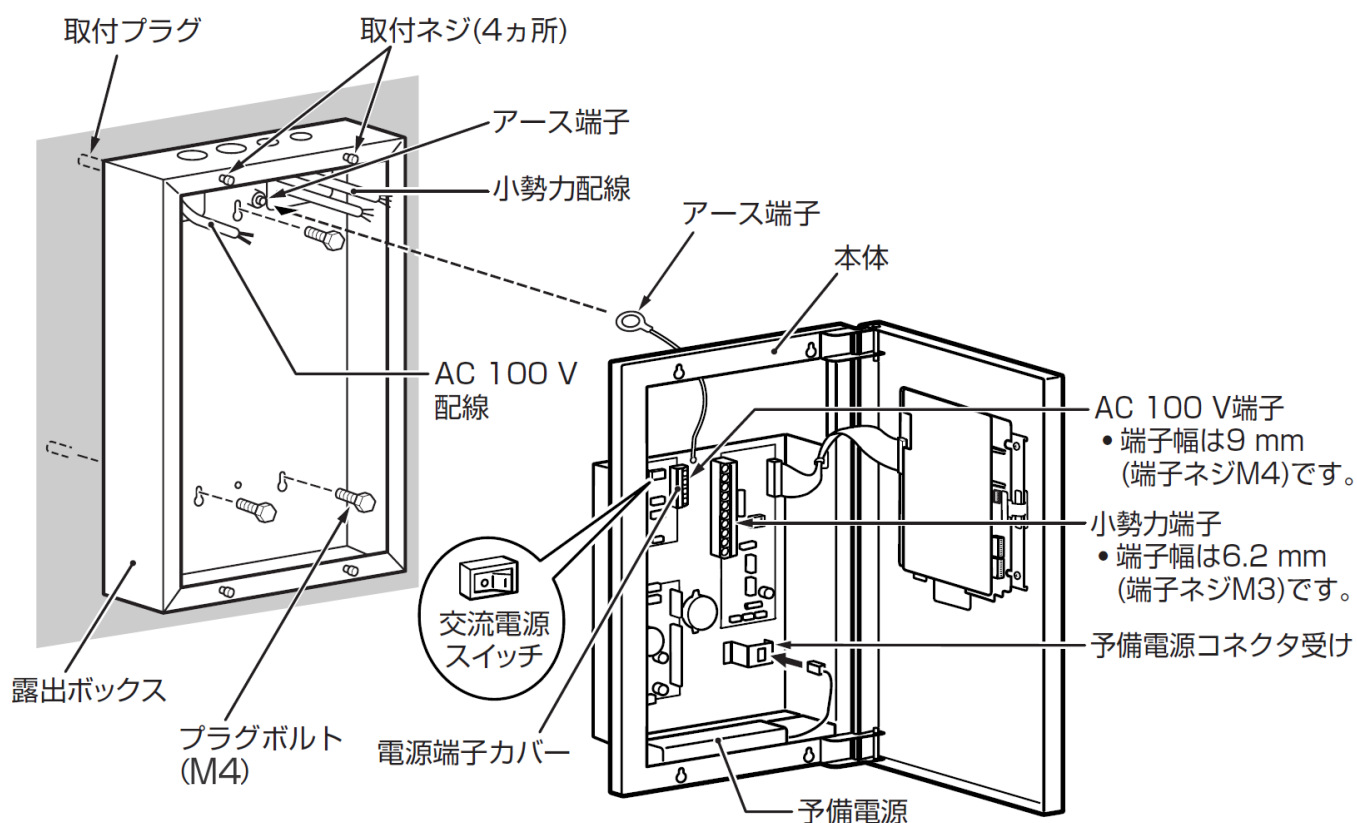
5. 配線する。（詳細は「7. 配線方法」参照）

(注) AC100V配線を接続する場合は、電源端子カバーをはずして接続してください。
結線後、電源端子カバーを必ず元に戻してください。

6. 交流電源スイッチを「ON（|）」側にする。

7. 予備電源のコネクタを予備電源コネクタ受けに差し込む。

(注) 施工後、電源をOFFする場合は、必ず予備電源のコネクタを抜いてください。
抜かないと、予備電源が消耗します。



⚠ 注意



アース線接続

アースの接続は確実に行う。
使用時や漏電のときに感電する
おそれがあります。

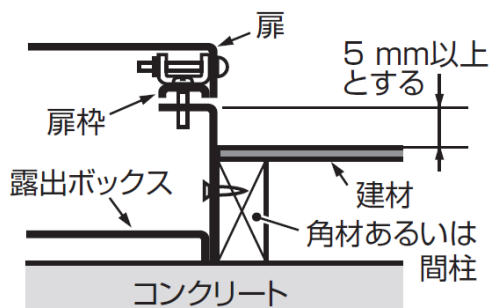
5. 取付方法（半埋込取付の場合）

半埋込取付の場合

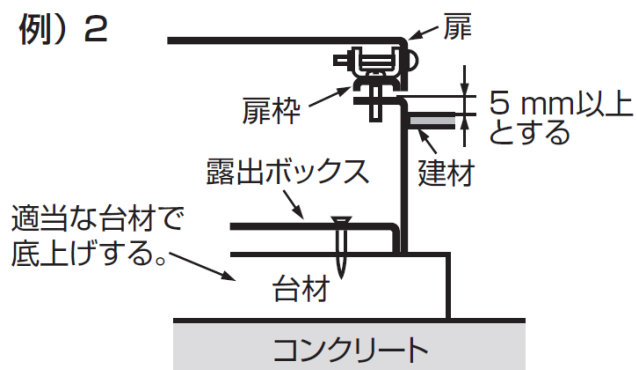
- (注)
- ・ AC100V配線と小勢力配線が接触しないようにしてください。
 - ・ 下図のように露出ボックスの取付方法が変わります。
 - ・ 他の取付方法は露出取付と同じです。
 - ・ 壁面加工寸法は、「取付寸法図」を参照してください。

■露出ボックスの取付寸法

例) 1



例) 2

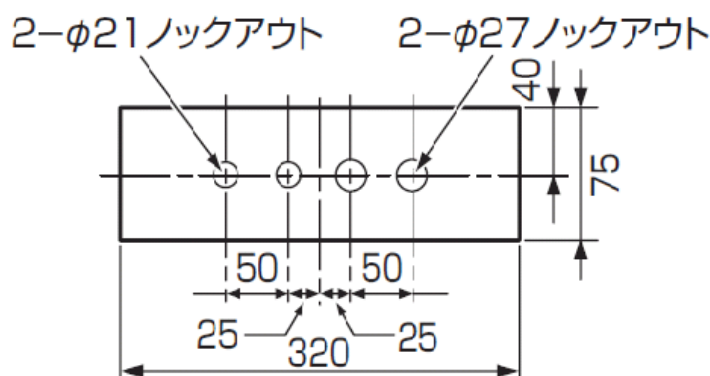
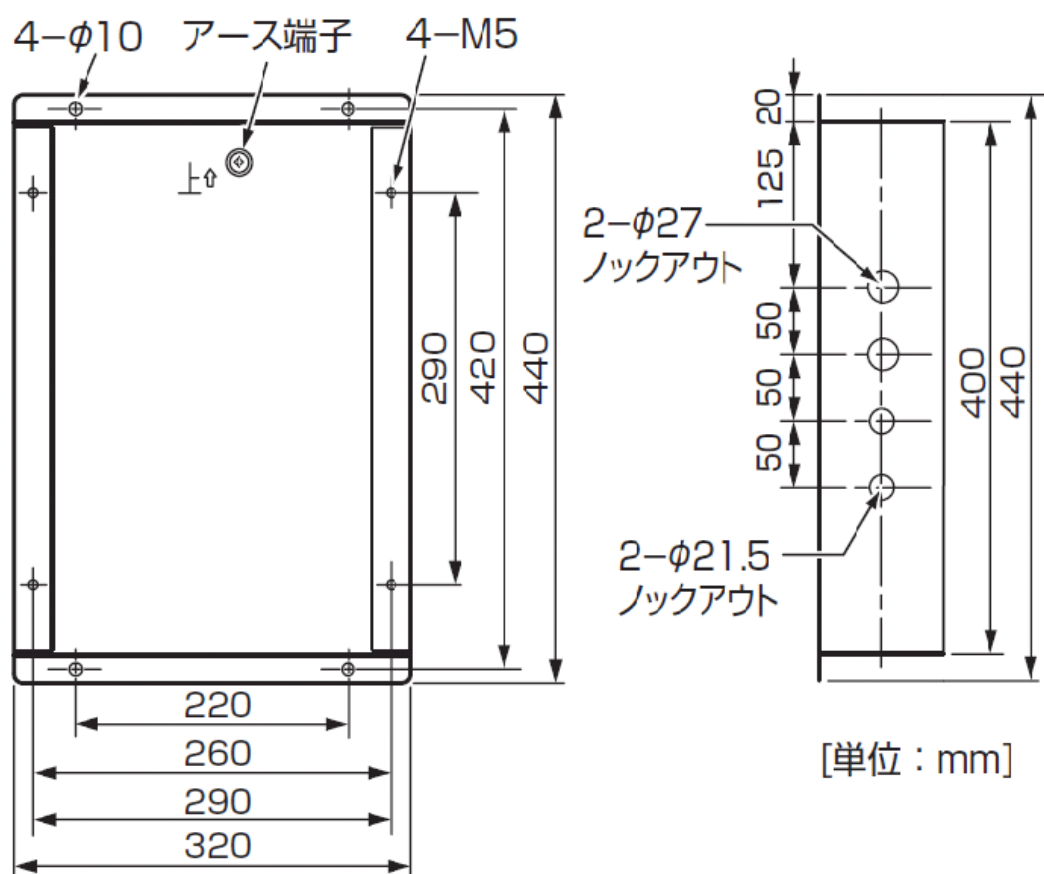


6. 取付方法（埋込取付の場合）

埋込取付の場合

1. 埋込ボックスを壁面に取り付ける。

- (注) ・床面に対し、垂直になるように取り付けてください。
傾斜角が大きいと副表示機の扉の開き方が悪くなる場合があります。

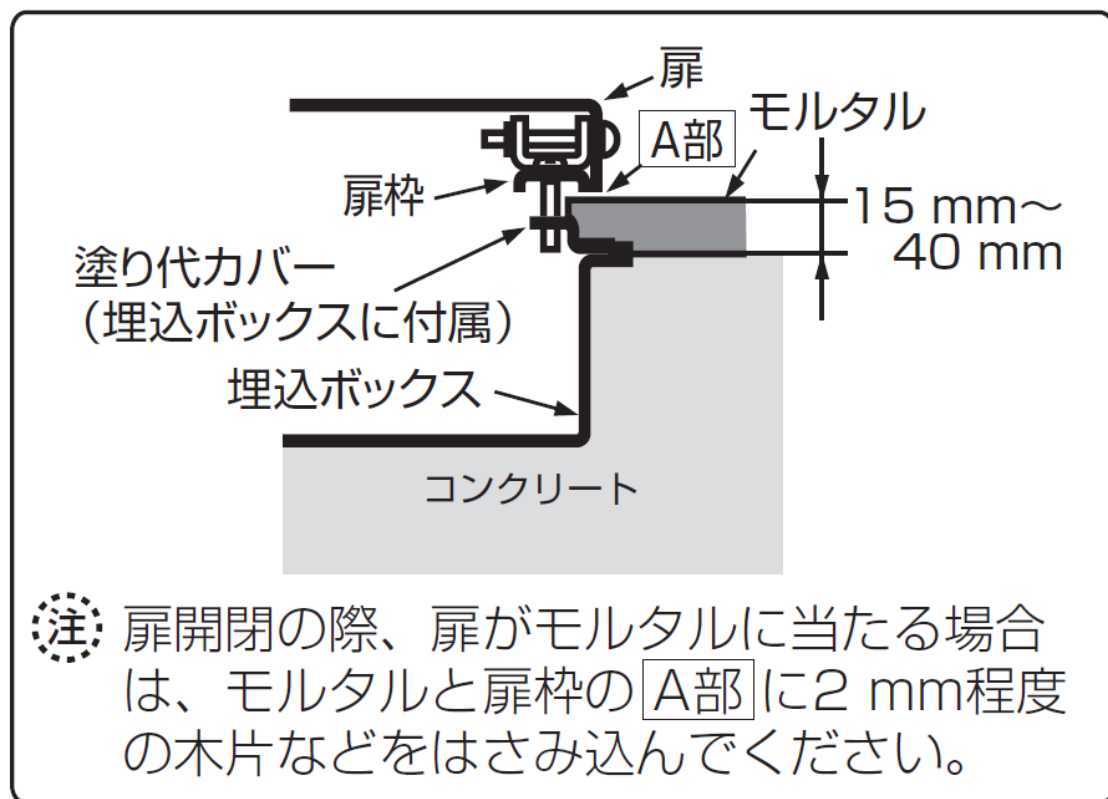


2. 入線を行う。

- ・AC100V配線と小勢力配線を分離して入線してください。

埋込取付の場合

3. 埋込ボックスに付属の取付ネジ（M5×40）で塗り代カバー（埋込ボックスに付属）を埋込ボックスに取り付け、モルタルを塗る。



4. 本体に付属の取付ネジ（M5×40）で塗り代カバーに本体を取り付け、埋込ボックスのアース端子に本体のアース端子を接続する。

埋込取付の場合

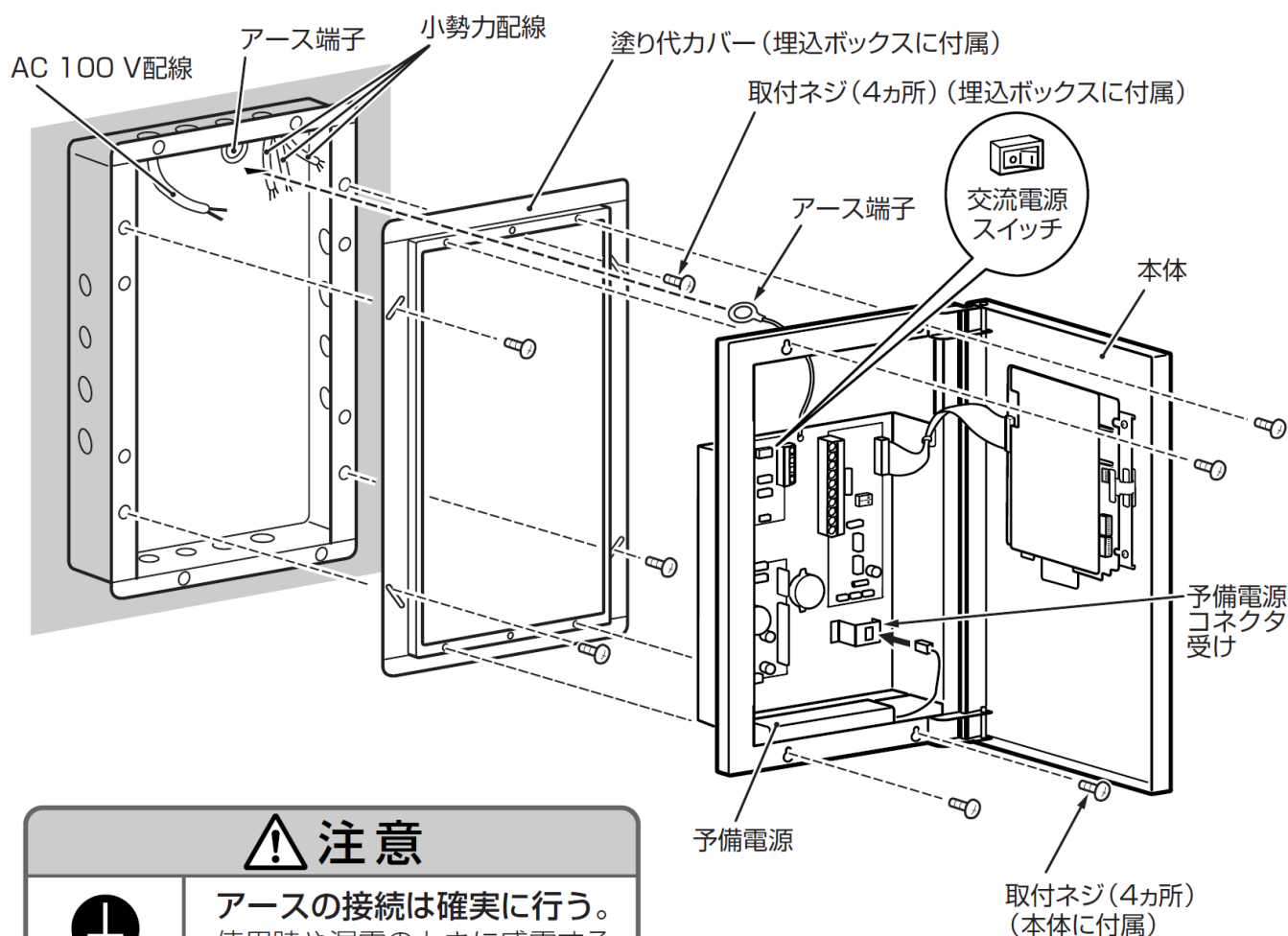
5. 配線する。（詳細は「7. 配線方法」参照）

〔注〕 AC100V配線を接続する場合は、電源端子カバーをはずして接続してください。
結線後、電源端子カバーを必ず元に戻してください。

6. 交流電源スイッチを「ON（|）」側にする。

7. 予備電源のコネクタを予備電源コネクタ受けに差し込む。

〔注〕 施工後、電源を切る場合は、必ず予備電源のコネクタを抜いてください。
抜かないと、予備電源が消耗します。



⚠ 注意

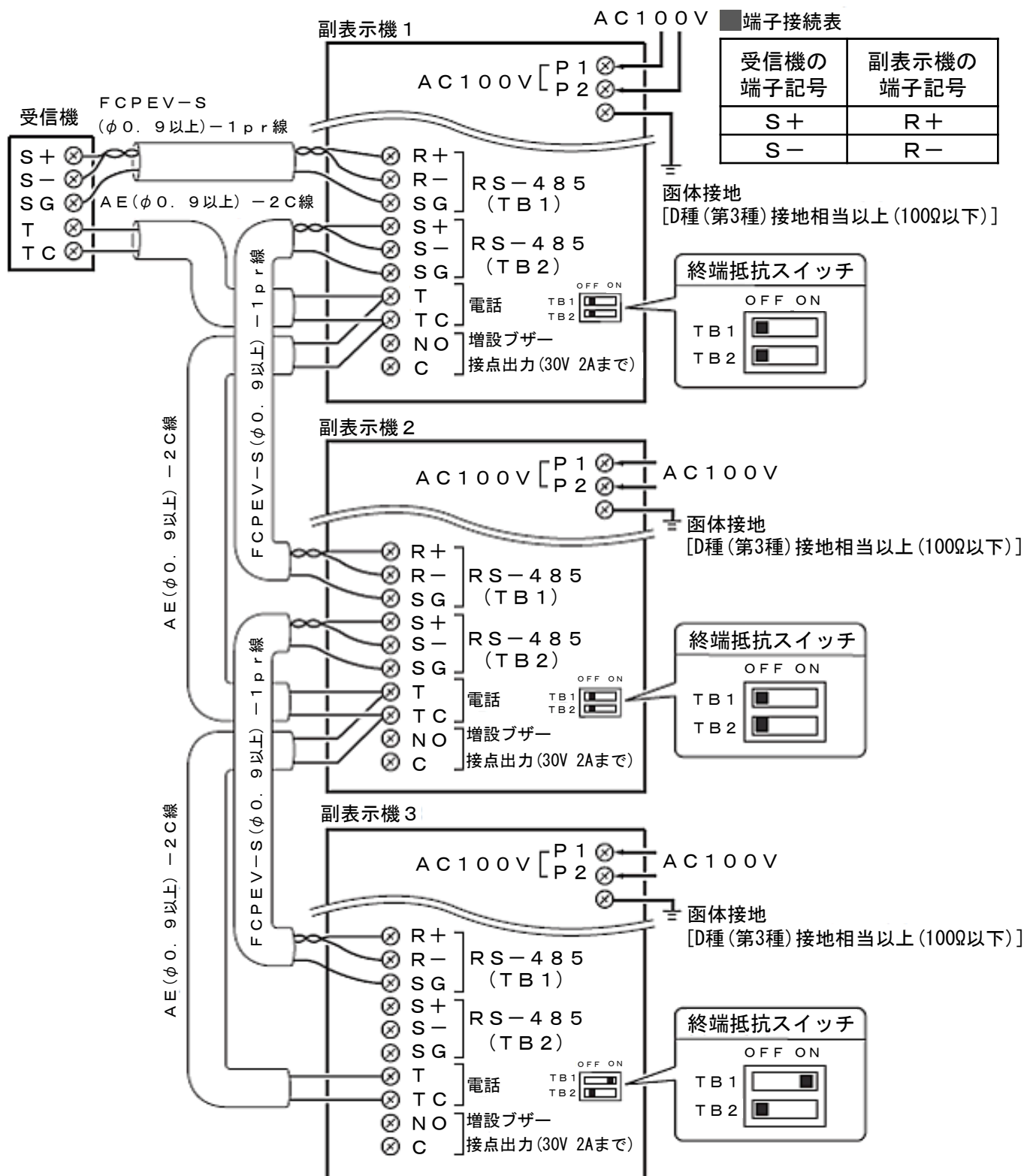


アース線接続

アースの接続は確実に行う。
使用時や漏電のときに感電する
おそれがあります。

7. 配線方法

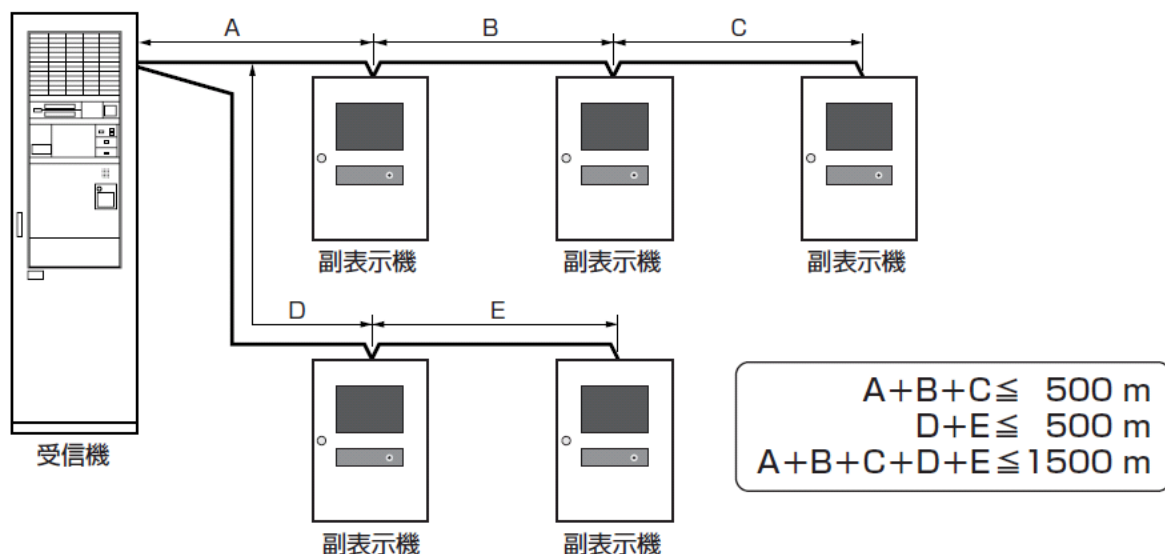
- 幹線 1 系統あたり、副表示機は最大 3 1 台まで接続できます。
- 端子はネジ端子を示します。



- (注) ・ 増設ブザー接点出力の使用電線は、AE ($\phi 0.9$ 以上) - 2C 線としてください。
- ・ 副表示機の伝送線と受信機～中継器 (分散処理盤) 間の伝送線は、別シースにしてください。

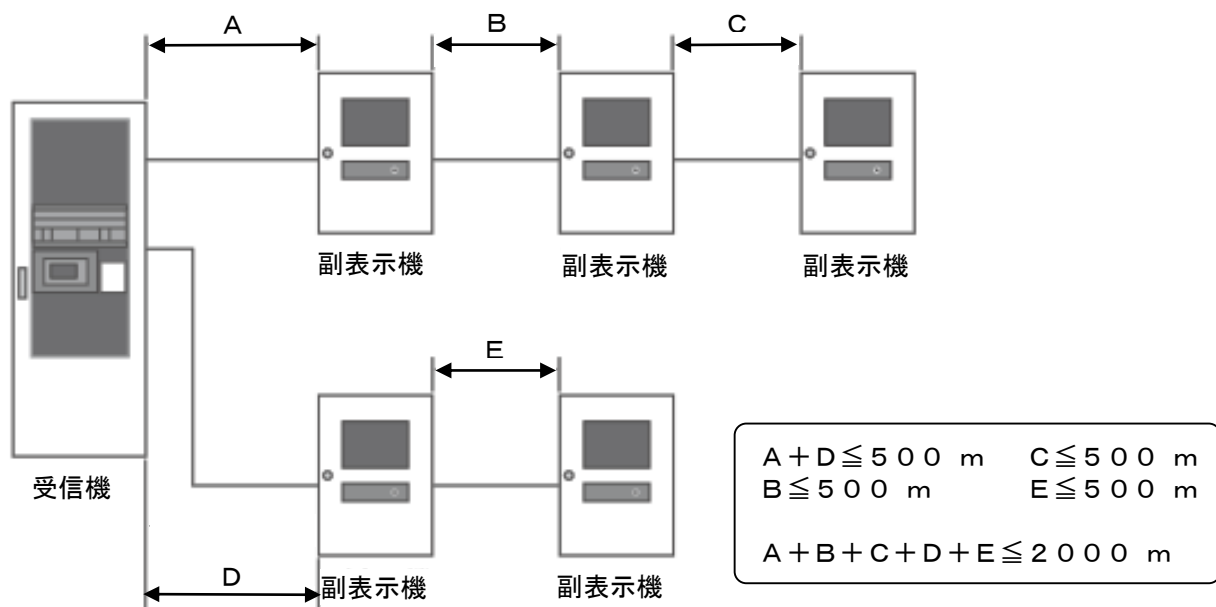
配線総長について（双方向通信の場合）

- (注)
- ・ 機器間の配線及び最遠配線長は500m以内にしてください。
 - ・ 全体の総配線長は1,500m以内にしてください。
 - ・ 増設ブザーの配線長は100m以内にしてください。



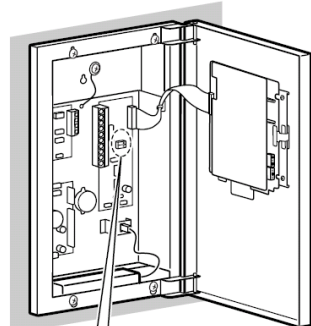
配線総長について（片方向通信の場合）

- (注)
- ・ 機器間の配線は500m以内にしてください。
 （分岐配線の場合は、合計500m以内にしてください。）
 - ・ 全体の総配線長は2,000m以内にしてください。
 - ・ 増設ブザーの配線長は100m以内にしてください。



8. 終端抵抗スイッチの設定について

双方向通信時



出荷時設定

OFF ON

TB1

TB2

TB1

「OFF」側にするとき

- 最速でない副表示機をすべて「OFF」側にしてください。

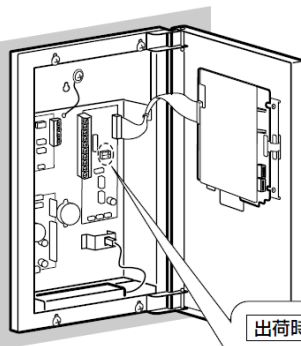
「ON」側にするとき

- 最速（配線長が長い）の副表示機を「ON」側にしてください。

TB2

- 変更しないでください。

片方向通信時



TB1

「OFF」側にするとき

- 配線方法が分岐配線で、その分岐配線で最速でない副表示機をすべて「OFF」側にしてください。

「ON」側にするとき

- 配線方法が分岐配線で、その分岐配線で最速（配線長が長い）の副表示機を「ON」側にしてください。
- 配線方法が送り配線で、接続されているすべての副表示機を「ON」側にしてください。

出荷時設定

OFF ON

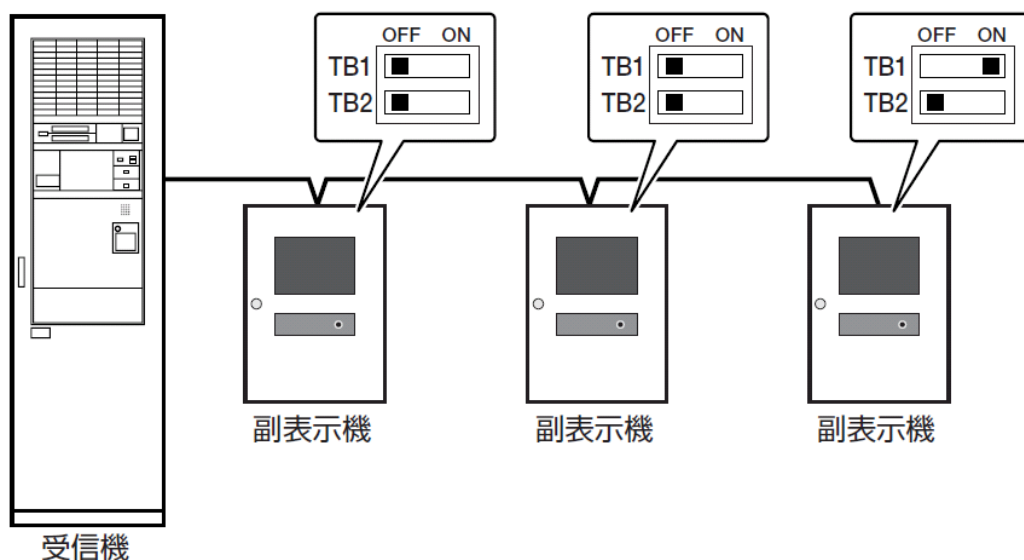
TB1

TB2

TB2

- 変更しないでください。必ず「ON」側で使用してください。

送り配線の場合（双方向通信の場合）

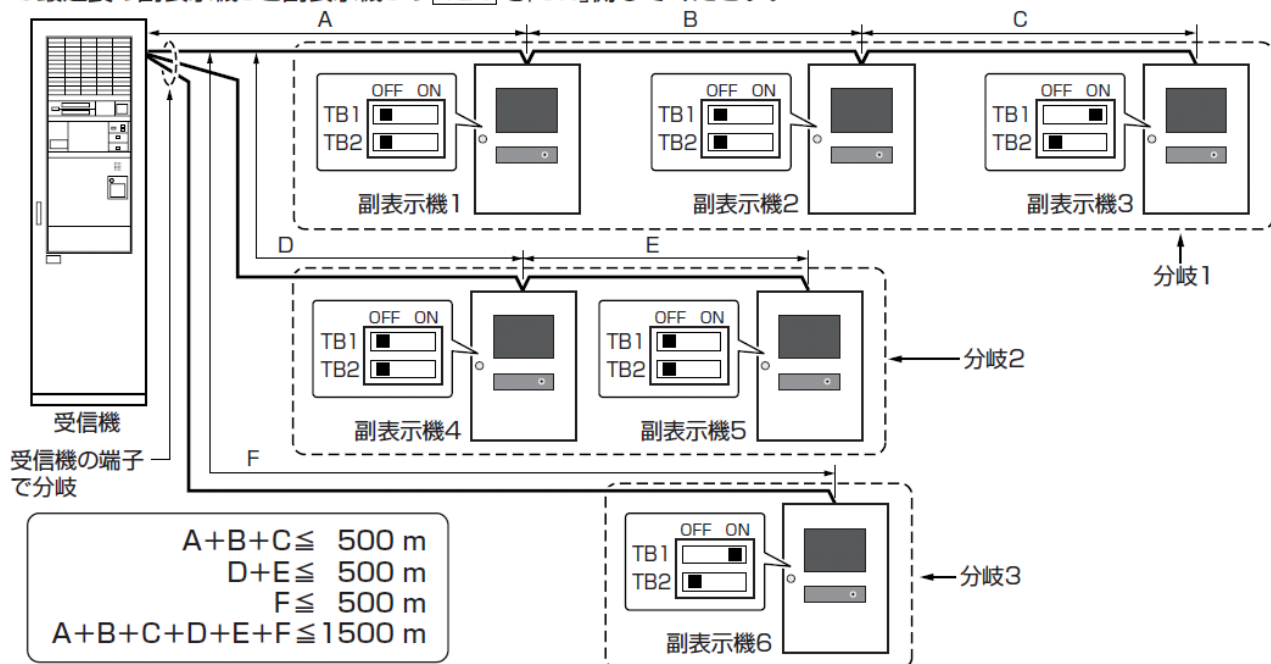


分岐配線の場合（双方向通信の場合）

〔注〕 3分岐まで接続できます。

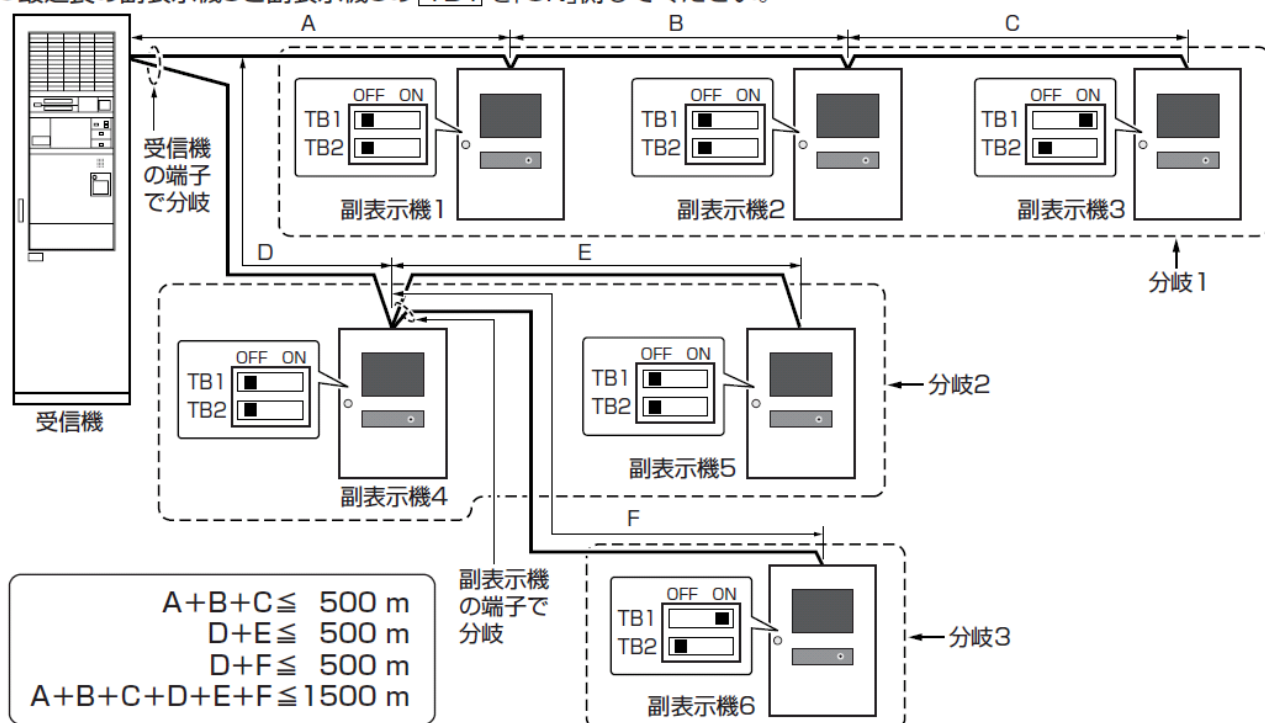
〔例1〕 受信機の端子で分岐する場合（配線長： $A+B+C>F>D+E$ ）

●最延長の副表示機3と副表示機6の「TB1」を「ON」側してください。

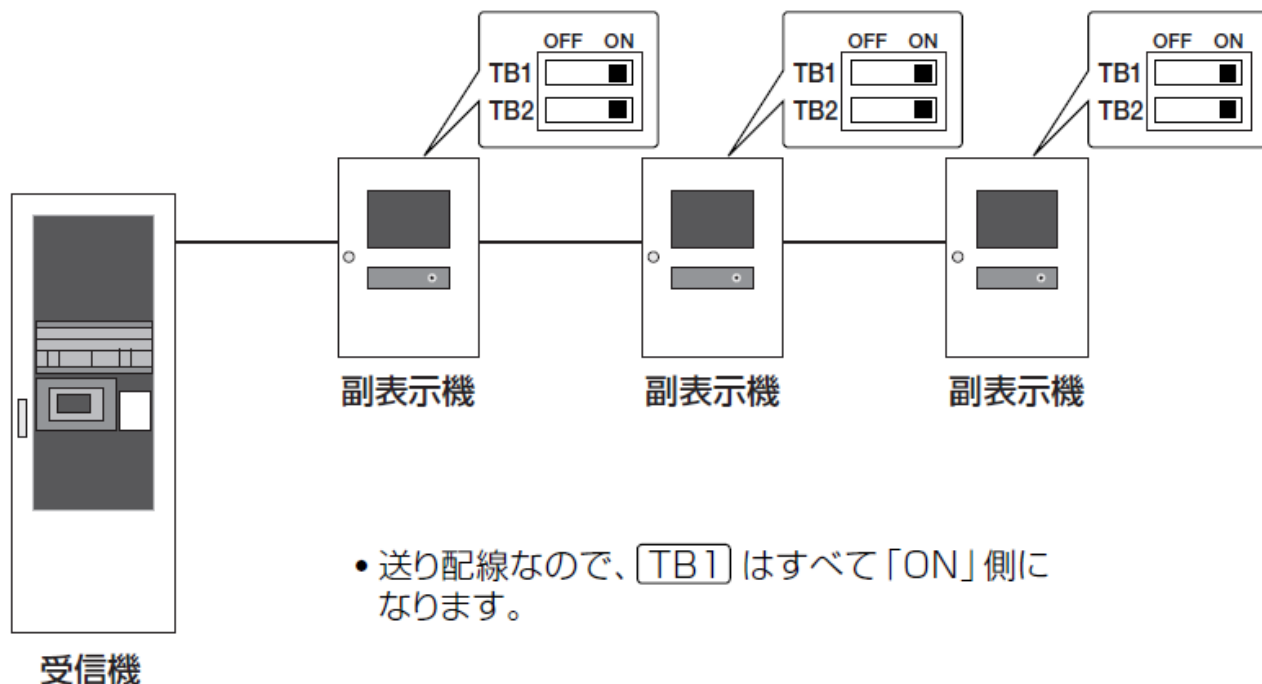


〔例2〕 受信機の端子と副表示機の端子で分岐する場合（配線長： $A+B+C>D+F>D+E$ ）

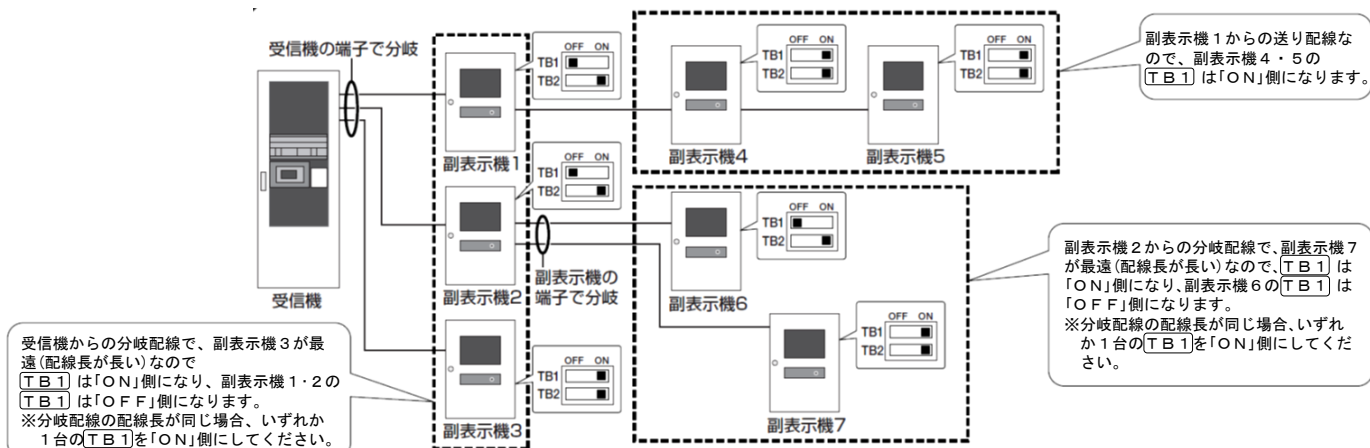
●最延長の副表示機3と副表示機6の「TB1」を「ON」側してください。



送り配線の場合（片方向通信の場合）



分岐配線の場合（片方向通信の場合）



9. 設定ファイルの登録方法について

- 受信機の情報に基づいて動作表示する設定ファイル(設定情報)の登録をします。
- 詳細は別冊の副表示機設定マニュアルを参照してください。

1 別冊のデータ設定マニュアルを参照して設定ファイルを作成する。

2 コンパクトフラッシュカード(CFカード)に設定ファイルを保存する。

- 推奨コンパクトフラッシュカード(CFカード)：(株)バッファロー(品番：RCF-X256MY)
(32MB以上1GB以下)

3 CFカードを副表示機に差し込む。

4 副表示機の交流電源スイッチを「ON(Ⅰ)」側にし、予備電源を予備電源コネクタ受けに差し込む。

5 設定ファイルのデータを転送する。

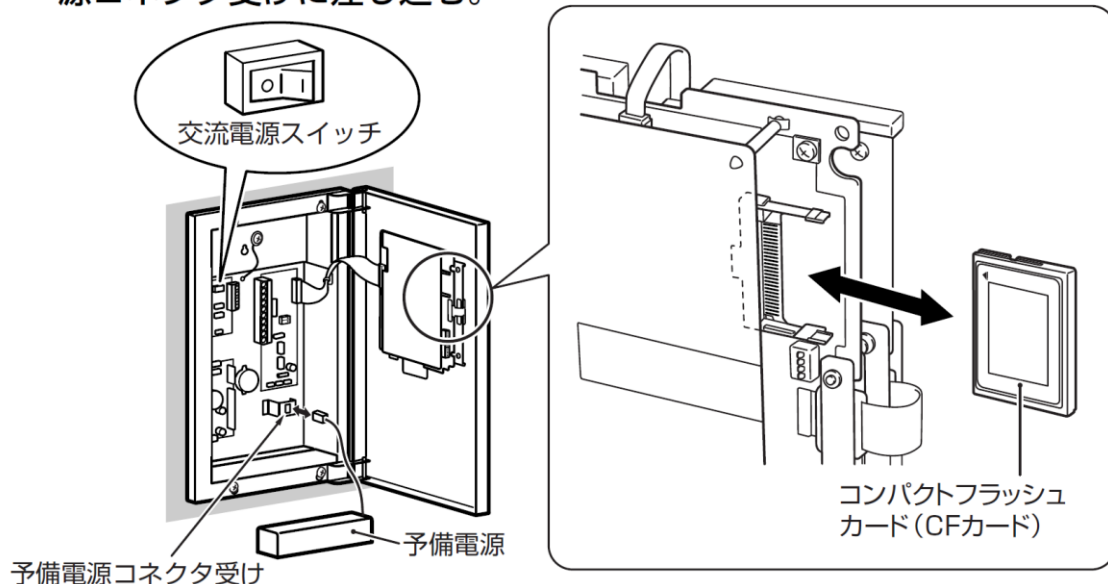
- ① **管理者** 押す
- ② パスワード入力 **A** 押す ▶ **D** 押す ▶ **確定** 押す
- ③ **設定ファイル操作** 押す
- ④ **設定ファイル転送
(メモリーカード⇒本体)** 押す
- ⑤ **転送開始** 押す

- 「転送が完了しました」と表示が出れば、副表示機に設定ファイル(設定情報)が登録されます。

6 予備電源を予備電源コネクタ受けから取りはずし、交流電源スイッチを「OFF(0)」側にする。

7 CFカードをはずす。

8 副表示機の交流電源スイッチを「ON(Ⅰ)」側にし、予備電源を予備電源コネクタ受けに差し込む。



10. 時刻設定・予備電源試験・ヒューズ交換について

時刻設定について

- 受信機側により、時刻は設定・変更されます。
- 副表示機側でも時刻設定は可能です。

操作方法

- ① **管理者** 押す
- ② パスワード入力 **A** 押す ▶ **D** 押す ▶ **確定** 押す
- ③ **時刻設定** 押す ▶ 時刻設定する

予備電源試験について

(受信機の定期点検時に予備電源試験を行ってください。)

操作方法

- ① **管理者** 押す
- ② パスワード入力 **A** 押す ▶ **D** 押す ▶ **確定** 押す
- ③ **電池試験** 押す ▶ **開始** 押す

➡「電池試験結果：不良」の場合：予備電源を交換してください。
「電池試験結果：良」の場合：正常です。

予備電源交換について

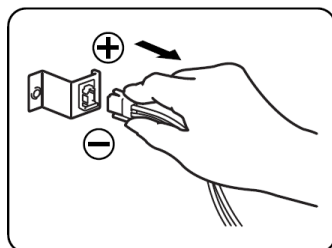
■お願い事項

- 予備電源を取りはすすときは、必ず交流電源スイッチは「OFF(O)」側の状態で行ってください。
- 予備電源は、当社受信機専用品(受託評価適合品)(受信機用450 mAh)を使用してください。
- 予備電源はリサイクル可能な貴重な資源です。
ご使用済の予備電源は捨てないで、リサイクルへご協力ください。
- 予備電源の寿命は約5年です。取り付け日から5年を目安に交換してください。
停電時、正常に機能しない場合があります。



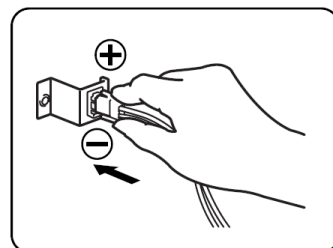
■取りはすし方

- 接続コネクタの両端をつまみながら抜き、予備電源を取りはすす。



■取り付け方

- 新しい予備電源の接続コネクタを差し込み、予備電源を本体内に収納する。



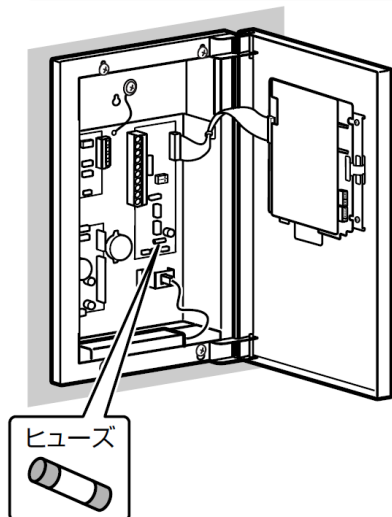
ヒューズ交換について

⚠ 注意



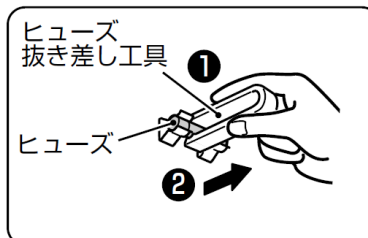
禁止

- ヒューズ交換は副表示機の交流電源スイッチを「OFF(O)」側にし、予備電源のコネクタを抜いた状態で行う。
- ヒューズは必ず指定のものを使用する。
それ以外のものを使用した場合は発火・故障の原因となります。



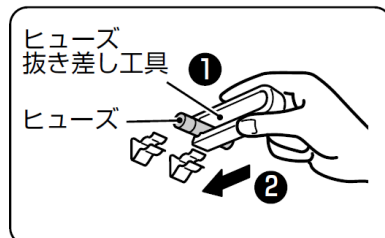
■取りはずし方

- ① ヒューズにヒューズ抜き差し工具を挿入する。
- ② ヒューズ抜き差し工具をつまんで引っ張る。



■取り付け方

- ① ヒューズ抜き差し工具にヒューズを挿入する。
- ② ヒューズ抜き差し工具をつまみ、ヒューズ金具に挿入する。



- ヒューズ抜き差し工具は、付属品として同梱しています。

1 1. 異常時の点検・処置

状 態	点 検	処 置
電源灯が 消灯している	ブレーカーが「切」側になっていないか？	ブレーカーを「入」側にする。
	副表示機の交流電源スイッチが「OFF(O)」側になっていないか？	副表示機の交流電源スイッチを「ON(I)」側にする。
通話ができない	受信機と副表示機の電話線(T,TC)が正しく接続されているか？	配線を見直す。
副表示機に 通信異常表示が出る	受信機の交流電源スイッチが「OFF(O)」側になっていないか？	受信機の交流電源スイッチを「ON(I)」側にする。
	受信機と副表示機のRS-485(TB1,TB2)通信線が正しく接続されているか？	配線を見直す。
受信機に 副表示機の通信異常 が表示されるとき	異常表示されたアドレスの副表示機の交流電源スイッチが「OFF(O)」側になっていないか？	副表示機の交流電源スイッチを「ON(I)」側にする。
	副表示機のアドレスが正しく設定されているか？	アドレスの設定間違い、抜け、重複などを見直す。
	テーブルジェネレータにおいて、副表示機の接続台数設定があっているか？	テーブルジェネレータで設定した接続台数と実際に接続している接続台数をあわせる。
	受信機と副表示機の終端抵抗が正しく設定されているか？	終端抵抗の設定を見直す。
	受信機と副表示機のRS-485(TB1,TB2)通信線が正しく接続されているか？	配線を見直す。
警報音が鳴動しない	液晶画面上部に「音停止中」が赤色点滅表示されていないか？	液晶画面の音響停止スイッチを3秒間長押しして、音響完全停止状態を解除する。
	副表示機内の音響完全停止設定スイッチが「ON」側(音響完全停止)になっていないか？	音響完全停止設定スイッチを「OFF」側にして、副表示機の交流電源スイッチを「OFF(O)」側→「ON(I)」側にする。
	種別設定データ(LcdType.csv)の音響鳴動設定がOFFになっていないか？	※ 種別設定データを見直す。
受信機が発報しても 副表示機に 表示されない	受信機側で周辺機器の移報停止設定になっていないか？	周辺機器の移報停止を解除する。
	副表示機内の通信モード設定スイッチが「OFF」側になっていないか？	通信モード設定スイッチを「ON」側にして、副表示機の交流電源スイッチを「OFF(O)」側→「ON(I)」側にする。
	種別設定データ(LcdType.csv)の自動表示設定がOFFになっていないか？	※ 種別設定データを見直す。また、液晶画面消灯状態なら、液晶画面に触れて液晶画面を表示する。
	種別設定データ(LcdType.csv)の表示設定がOFFになっていないか？	※ 種別設定データを見直す。
	棟階表示対象設定データ(TouDisp.ini)の当該の棟、階が表示対象設定されているか？	※ 棟階表示対象設定データを見直す。
受信機と副表示機の 表示が一致していない	種別設定データ(LcdType.csv)の種別名称設定が受信機の種別名称と一致しているか？	種別設定データを見直す。

※種別設定データ(LcdType.csv)、棟階表示対象設定データ(TouDisp.ini)の詳細については、別冊のデータ設定マニュアルを参照してください。

本書記載事項の無断転用を禁じます。
今後とも、本書を充実させていきます。
尚、本書は仕様変更等に伴い予期なく変更する場合がありますが、ご了承お願い致します。